

事務事業名	消防団大会演習交付金事業		所属部局	消防本部		単位番号	13061									
			所属課室	消防課		課長名	芦沢俊一									
	☐ 実施計画事業		所属担当	地域消防		担当者名	森本浩人									
基本政策	基本計画体系	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策		安全な環境づくり	事業区分	01	一般	0	9	0	1	0	2	0	3	0	1	0
施策		防災体制の充実		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	消防組織法 消防法												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 毎年開催されている南アルプス支部主催によるポンプ車操法の演習事業を支援するためである。		事業費の主な内訳 (22年度)													
			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)													
			旅費 21													
			消耗品費 768													
			食糧費 472													
			交付金 2,783													
		計 4,044														

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	22年度は県大会にて優勝し全国大会まで出場した、小型ポンプ操法において優秀な成績を収めた。
23年度活動予定	23年度は支部演習にて日頃の訓練を披露し士気を高める。
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
ポンプ車操法を各分団にて披露する出場隊。	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
消防団員の士気の高揚	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
操作方法が間違わず完璧に出来た。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 演習隊	隊
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア ポンプ車操法披露する隊員数	数
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 参加してよかったと思った団員数	人
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 良かったと思った団員数	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	2,706	4,044	635	1,955	635	1,955	
	事業費計 (A)		千円	2,706	4,044	635	1,955	635	1,955	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	2,000	4,000	2,000	4,000	2,000	4,000		
		人件費計 (B)	千円	8,922	17,844	7,924	15,848	7,924	15,848	0	
		(A) + (B)		千円	11,628	21,888	8,559	17,803	8,559	17,803	0
活動指標		アイウ	隊	2.0	2.0	7.0	7.0	7.0	7.0		
		アイウ	数	6.0	6.0	35.0	35.0	35.0	35.0		
対象指標		アイウ									
		アイウ									
成果指標		アイウ	人	11.0	11.0	741.0	750.0	750.0	750.0		
		アイウ									
上位成果指標		アイ	人	6.0	6.0	35.0	35.0	35.0	35.0		
		アイ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年の町村合併により南アルプス市となりそれに伴い八田村・白根町・芦安村・若草町・櫛形町・甲西町の6つの消防団が統合され、南アルプス市消防団となった。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	平成22年度より消防団員の負担の軽減を図るため、山梨県が全国大会に出場する権利がある種目の県大会を実施することになった。昨年度は小型ポンプ操法のみ実施とし今年度は未開催。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	ポンプ車操法は消防団員が火災時に安全及び敏速に水を出す基本操作なので、県大会が実施されなければ、今後支部演習等で行うことが重要ではないかという意見が出た。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成22年度より消防団員の負担の軽減を図るため、隔年で県大会を実施する事になった。そのために今年度の県大会は未実施となる。
H 22年度に実施した改革改善の内容	特に無し

事務事業名	消防団大会演習交付金事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	--------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 消防団員がポンプ車等の基礎を習得する上で重要であり、機械に精通することにより災害時の対応ができる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 機器類に精通することにより、災害時の対応ができる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 火災や災害時に即対応できる	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 前年度、既に予算減額している。県大会は今年度から隔年に開催になったので費用負担は少なくなる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 災害時に対応できない	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 災害時に対応できない
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 支部の演習事業のため、事業費も最低限にて実施している。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 県大会が隔年の、全国大会がかかる種目のみとなるため、その分経費の削減となる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 市民の財産を守っている	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	常に火災時に機敏に動作できるようにも日頃の訓練は必要であり、一同に集合しお互いの訓練状況を披露することで他の分団との訓練内容を実感し今後の自分たちの向上に繋げることができる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について 団員の士気向上の為に現状維持																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 現状維持のため、必要なし。	(5) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						